

# HAND in HAND

はんど・いん・はんど

## 〔離婚を選んだ女たち〕

■大阪の弁護士会主催の憲法40周年シンポジウムに招かれてお話しした後でハンド・イン・ハンドを差しあげますといいましたら、うわっという感じで人が押し寄せてきました。離婚講座はどこで開かれているのか、離婚の相談はしているのかと畳みこまれるように口々に質問され、慣れている私もタジタジ。離婚件数がここ数年減ったとはいえ、相談は増える一方、かつ、女性からの離婚が多いというもうなずける一幕でした。

■さて、昨年のお正月に皆様にご協力いただいたアタッチメントとアイデンティティのアンケートをようやくまとめて一冊の本にできました。離婚直後の気持としては圧倒的にどの年代も「爽快感」がトップで「後悔していない。良かった」という人が大多数。そのバイタリティあふれる生き方、こまやかな心遣いで不安材料を乗り切る生活ぶりなどに感心してしまいました。アンケートに加えて、多くの人に自分史を書いてもらったり取材させてもらい、その元気いっぱい恋と仕事と再婚の生活を紹介しています。タイトルは「離婚を選んだ女たち」（時事通信社より11月末発売予定）。まさに離婚を選びとり、自分の人生を生きている女たちの物語だからです。

■「子供がいないので」「子供をひきとれなかったので」肩身が狭いとか、会合にも参加しにくいという声が聞かれます。子供を抱えている人たちは、「子供がいるから充実している」と言いますが、そうでも言わなきゃやっていけないし、身軽な人達をうらやましいとも思っているのです。

■どちらも同じ「離婚を選んだ女たち」胸を張って生きましょうよ。とりあえず、11月の東京の会合に参加してみませんか。「離婚後の恋と仕事」そして結婚の意味がテーマ。大いに語りあいましょう。（円より子）

海を渡る鳥は、波間を漂う流木に憩うという。離婚—それは旅の半ばの一つの出来事。新たな旅立ちをした女たちはいま手をとりあい、女であるがゆえの偏見と差別に向きあう。ハンド・イン・ハンドは生きやすい社会をめざし、支えあう女たちの流木である。

第79号 200円 禁無断転載

【発行日】1987年11月1日

【発行所】現代家族問題研究所  
東京都渋谷区神宮前3-33-2-202  
〒150 電話03 (402) 7354

【発行・編集人】 円 より子

【編集スタッフ】

有賀佐知子・塩沢まや

79

逐次刊

昭 62.11.

国立婦人教  
情報図書

# 再就職大作戦

## 私の場合

七七号で特集「再就職大作戦」を組みましたが、好評だったよう  
で「私の場合は」といったお手紙  
を沢山いただきました。いくつか  
をご紹介します。

焦らず勉強を

神奈川・O (三三歳)

離婚はしたものの、再就職先での収入は意外に低く、待遇も条件も決して良い方とは言えません。ついでに結婚前の勤め先のことを思えば、今頃やめていなければ、〇〇の収入があったらどうか、四級主任(退社時の役職名)から五級主任、六級主任位までには昇格できたのでは、など考えると、未熟な結婚と結婚生活が悔やまれてなりません。本当に自分の人生設計の思慮のなさが悔やまれます。ですから今は、地に両足をしっかりとつけて、ゆっくり／＼歩くことにしようと思っています。とりあえず少しずつ勉強しようと、夜

間の学校に通っています。それ故横浜の会合にもな／＼伺うチャンスがなくてとても残念です。

私の心が病んでいた時に、横浜の会の方々は、私の苦しみを聞いて砕いて、吸い取って下さいました。私の話を何時間も電話で聞いて下さいました。終電近くまで話し続けたこともありました。皆様本当にありがとうございました。もし、横浜の会に伺っていないければ私はまだ／＼重病人であつたと思います。本当にありがとうございました。勉強が進んだら又参加させて頂きたい。今度は少しは何かのお役に立てればと思っています。

面接を受けるのもためらいが……

千葉・ (三四歳)

「再就職大作戦」、興味深く読みました。

私も現在必死に職探しをしています。今年の一月から、雇用保険支給開始(昨春秋、再婚と同時に

一年間の勤めを辞めたのですが、その後、短期間パートに出たりしたため、支給開始が今年の五月になりました)までの五ヶ月間、計十社の求人募集に応募しましたが、すべて不採用でした。私の場合、夫が八才も年下のため、収入も低く、公団の家賃も、毎月七〇、〇〇〇円以上のため、私も是非でも働かなくてはならない状態です。

新聞の求人欄と求人情報誌で、主に小さな事務所の事務職(貿易関係や、会計士事務所など)に応募したのですが、どれも一人の事務員募集に数十人からの問合せ、応募があつたようです。私の場合、年齢も三十半ば、子供がいる、というところで条件は悪かったのですが、どれも面接は受けることができました。その際、夫の年齢が若いということ、ブライベートな質問をされたことも二、三、ありました。それがイヤで、夫の年齢を三五才と記入していくと、子供も一人で、手がかからなくなり、恵まれた環境の奥様が暇つぶしで仕事探しをしている、と思われたらしく、「御主人の諒解を得ていますか?」と尋ねられたりすること、何度かあり、この辺のかねあ

いが、本当に難しいところでした。小さな組織のためか、経営者の奥様も同席しての面接や、古参女子社員が応募者の品定めをしているらしい所も、一つ二つではありません。こういう所は、面接で、あまりドレスアップしていくと、ダメなようです。

どれも、再婚前に勤めていた会社よりも賃金ははるかに低く、労働条件も、あまり良くなかつたようです。

ある、大手都市銀行のパートタイマーで働いてみましたが、私の配属されたのが、その銀行の中で、最も忙しいセクションで、多い時には、日に一五〇本はかかってくる他行からの問合せに四人で応対している、という所で、専門知識もない私が、いきなり電話に出させられるのはびっくり。とにかく目の回る忙しさで、昼休みもぐったりするくらいでした。とても、時給六五〇円では、やってられないので、一週間で辞めました。そこでのパートタイマーは私一人。あとはその銀行の女子社員で、給料もボーナスも、ちゃんともらえますが、彼女達と全く同じ仕事を、十時から四時までで、三、

二五〇円なんて、全く割に合いません。

女も若ければ、仕事はたくさんあります。でも、年齢が高くなってくると、少々の資格・技術がないでは、なかなか雇ってはくれないようです。家庭で何年も、専業主婦をしていた女性が、いざ、働かなければ、と思っても、自分の納得のいく仕事など、皆無といってもいいくらいです。私も英文タイプが多少できるだけでは、心もとなないので、自動車免許を取り、簿記の勉強もしていますが、果たして役に立つでしょうか。

それに、やはり通勤に便利な場所に住んでいることも有利な条件の一つだと思います。私は、松戸市に住んでいます。通勤できる範囲が限られていて、知人を通じて、仕事の話があっても、通勤に時間がかかりすぎるという理由で、断わらざるを得なかったこともありました。

良い条件で長く勤められる所は、なかなか見つからないようです。この頃は面接を受けるのも、億劫になってきました。往復の交通費もバカになりません。面接の際、交通費を支給してくれたのは、十

社のうち二社だけでした。でも、頑張らなくては！

### 子供の成長にあわせて

広島県・X（三六歳）

私、現在三六才、公立病院の正看護婦です。私は結婚するので二四才で退職しました。ずっと専業主婦でしたが、別居後実家で暮らしています。出産後三年間は育児に専念しました。両親から、子供のために三才までは勤めてはいけないときつく言われました。それにこの間、離婚訴訟中でしたから、離婚を勝ちとるため、弁護士や両親との話し合いに時間を費やし、勤めることなど考えていませんでした。

ついに離婚成立、母親業をしていましたところ、ナースバンクから潜在看護婦の登録のアンケートがきました。今すぐ働かなくて良いからアンケートを書くよう言われ提出しました。その後すぐ就職の話がありました。子供が小さいからと断りました。それでも再三病院から直接来てほしいと言われ、半年後子供も三才でしたので、パートならという条件で就職しました。子供のために午前中九

時から十二時半までのパート（週休二日）でした。お金をもらうことより、子供を少しづつ慣らす為でした。

一年後、同じ職場の一人が現在の病院のパートで勤めました。その方からいろいろ話を聞き、当時の職場より勉強になるため、ナースバンクに登録しました。ナースバンクの係の方が親切で、現在の病院から募集があるとすぐ知らせてくれましたので、翌日面接に行き、すぐ採用になりました。総

婦長からは「良い学校を出ているのだからパートではもったいない。すぐ常勤に」と言われましたが、子供が小さいので将来常勤になると話しておきました。九時から二時の五時間パートを二年間、子供が六才になり常勤になりました。そして現在に至ります。

私は運が良かったのです。子供の成長に合わせて勤務時間を延長したこと、ナースバンクの係の方が親切だったこと、何と言っても両親が子供をみてくれたこと。子供は途中から保育所に入れました。公務員です。一応安定しています。しかし、三交代のため、夜勤（二ヶ月に八〜十回）日曜（一ヶ月

に二回）祝日勤務があるのが難点です。

### 立ち入った質問

大阪・S・H（三九才）

九月なかばに、司書の仕事にすることができました。面接の時、また採用が決まった時、立ち入ったことまでたずねられ、不愉快なくやしい思いをしました。でもこの年齢で思うような仕事につくのは困難なこと、がまんするよりしかたがありませんね。



十一月八日のいも掘り風景  
「大きいのが掘れたかな」



くつもりですが、どういふ風に受け止めてくれるか」(二六才)

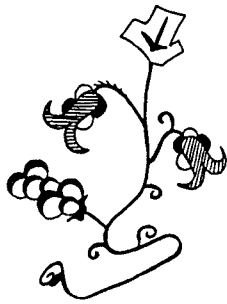
「幼稚園の父親参観日が少々、娘にとってはシヨックの様でした。もう少し大きくなったら、今よりまだ色々な事があると思いますし、子供にこの事実をどういふ言葉で教えたらよいか、思案中です」(三〇才)

同時に、現在そして将来と、離婚が子供にどう影響するか、と心配する声も、随分ありました。

「来年幼稚園の三年保育にいかせたいと思っています。この秋に試験があるのですが、父親がいなという事で、落とされるのでは、とても心配です」(二九才)

「長男の就職に、離婚して夫がいなという事が、どの位響くか心配です」(五〇才)

「離婚の意志は堅いの、片親にしてしまう言いだしっぺになり



カット・泉田詠美佳 (18才)

たくない、というずるい気持ちだけで、なかなかふんざりがつきません」(四三才)

「離婚して子育てを経験してこられた方の体験談を聞かせてほしい。また、そのような内容の書物を取り上げてほしい」(二九才)

「自分はこれでいいんだと思っていますが、子供が大きくなって、そのことをどう受け取めるか、影響がどういふ形で現われてくるか心配です。素直に育ってくれることを願っているのですが」(二八才)

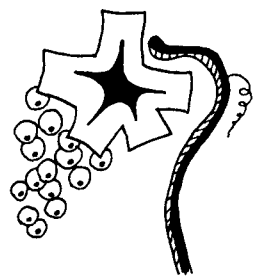
別れた父親と子供の接し方についての悩みもありました。

「離婚後(父親が)全く(子供に)会おうとせず、こちらから働きかけても優柔不断」(三四才)

「離婚後、父親としての気持ちほどのように変化していくのか」(三九才)

「子供と別れた父親は会っていませんが、これからどう接したら良いか考えがまとまりません」(三四才)

「子供に会いたがる父親と、拒否する息子の板ばさみになっていきます」(三七才)



また逆に、子供を引き取れなかったケースの様々な問題点、悩みも――。

「夫の元へ残してきた子供が、日常生活の事で、色々と訴えて来るのがつらい」(五〇才)

「父親の実家に子供がいて、生活は兄夫婦が見ているが、年のちがわな兄弟と育つことが、将来どういふ影響を与えるか」(三五才)

「子供が主人の実家へ連れていかれました。子供の引き渡しを要求していますが、なかなか応じてくれず、時々、連れ戻しにいかうかと思いつめることがあります。子供の引き渡しに関する記事を読んで下さい」(三四才)

「子供を引き取れなかった女性の特集を組んでほしい」(三七才)

もちろん、シングルからの声もありました。

「現在の生活は、イザ独身!!という感じで、好きな様に生きて、しばらくは事もなく幸せです」(三三才)

「シングルの人たちが向きの会合も活発にして下さい」(四五才)

その他には――。

「年長者の悩みなどの特集をしてほしい」(五〇才)

「男性の離婚に対する考え方、特に男性から言いだした離婚原因について関心があります」(三二才)

「老後の生活に関心あり。今、話題になっている老人の共同住宅、シニアハウスについて知りたい」(三六才)

「再就職について知りたい。コネに頼るか、資格を取るか」(三二才)

「地方の人にも離婚講座の内容を議事録やノートにして、希望者に送ってもらいたい」(二八才)

「母子が生活していくための知識、知恵を教えてほしい」(三五才)

「読んで感動した本を紹介するコーナーがほしい」(二六才)

「母子家庭機関紙や片親家庭の子育て論集になりがちですが、も

つと離婚した女性自身の内面に迫ってほしいと思います」(三三才)

また――

「公正証書を作るにはどんな準備が必要か」

「調停の手続方法について」

「子供と現在の夫との養子縁組に伴い、前夫と子供の間の財産相続はどうなるか」

「子供の籍を前夫の元に残したままにしておいた場合の有利、不利な点は」

など、法律上の質問もありました。これなどは、来月からハンドの紙上で、松尾・竹川両弁護士にQ&Aという形で答えていただく予定でいます。

ここに書いたのは、ごく一部ですが、年齢、環境、家族構成



など、その立場によって、実にさまざまな悩み、関心事が挙げられています。そんな中で、広範囲にわたって目立った、再婚・恋愛についての声を最後に――

「離婚してもう三年たちました。生活もどうにか人間らしく、毎日安定してきました。再婚したいです」(二九才)

「一人であることのさびしさは十分味わっています。けれども、絶対結婚なんて！でも、何でも話せる異性の友だち以上のものがほしいのは事実です。しかし、それを口に出して言うなんて、とってもはざかしいことです」(三五才)

「今、スキナ人がいます。私のことをスキダと言ってくれましたが、子供が二人いることを話したら、びっくりして、これからは友だちでいようと言われて、大変シヨックです」(二六才)

「中高年の再婚は、係累や、財産問題がからんで、複雑になると思うが、子育て後の老後は、気の合った伴侶を求める人も少なくないと思う。そのチャンスのあるサークル紹介や、新しい結婚形態(中高年の)、または同棲などのつきあ

い方について教えて下さい」(五二才)

「老後が長い昨今、異性とのつきあい等に関心があります。私の場合、母親同居でして、再婚は当分無理な事です。こんなことを、皆さんどうなさっているかしらるでしょうか」(四六才)

「まさかと思うようなまじめな男性から、堂々と不倫の申し込みがありました。また男性がわからなくなってしまうています」(三五才)

「六月に身体をこわし、これからの人生に不安がでてきました。今まで再婚なんて考えてもみなかつたのですが、ふとそんなことがきつかけで、真剣に考えた方がいいかなと思ったりもしています。でも子供への影響を考えると、やはりまだふみきることができません」(三四才)

「再婚とまでいなくても、皆さん恋をしているでしょうか……」(二六才)

「最近、再婚について考える機会があり、子供のこと、自分自身のことを含め、揺れに揺れていきます。再婚なんて、抜き差しならぬ枷を作るだけで、この自由な生活

を引き換える程の価値のないものと開き直っていた頃がなつかしく、子供に自信を持つて、生き様を呈するなどということの難しさを痛感しています」(四二才)

「現在のところ、夫とは別居中以上に快適な関係で、異性の友人といったような状態でつきあっています。紙の上で他人になり、肩の荷がおりた分だけ、よけいなエネルギーを使わずにすみ、気持ちがあつてもいいかもしれないと思う反面、互いの自由をどこまで認められるかという点で、自分が試される気がします」(三九才)

「いつも甘えていられるような、温かく守ってくれるような人がいればいいなあと思っています。この年で子持ちで再婚はくらしい希望です」(三七才)

ハンド・イン・ハンドでは、順次これらの問題等を取り上げていきたいと思っています。切りが過ぎてしまったからと、そのままにしている方も、今からで結構ですから、是非アンケート用紙をお送り下さい。

(文責・有賀)



第四一回 東京都・Yさん  
家族構成

私 三〇歳ボタンナー(フリー)  
父  
母

離婚後丸二年が過ぎました。一年の結婚生活後、一年の別居生活(この時は一人暮らし)を経て、実家に戻りました。現在、結婚前の娘と同じような生活です。子供が居りませんので、私は離婚を自身だけの出来事として、とらえることにしました。そして、こんな事は全部学習だと思い、講座に参加し、ハンドの会員になりました。

離婚後、半年程してから、フランスに旅立ち、七ヶ月半、パリで暮らしました。目的はバカンスです。自分にとって、何物にもならないでいるモラトリアム期が欲しかったのです(今までは少々、飛ばし過ぎかな...と思っていたので)。フランス人の半数が離婚経験者だそうです。自己紹介する時に、「あなたの(社会的な)位置は?」と聞かれます。「私は離婚者です」と答えると、「そりゃ、いい! 人生を楽しまなくちゃ!」と、こうきます。マダムとマドモアゼルの二つの称号があるのですが、白髪の婦人も堂々と、「私はマドモアゼル・エバ(名前)です」と、誇りさえ感じられました。

そして、自分の生活を、とても楽しんでいくようです。ゆえに、回りの事には、あまり関心がない。異文化に触れているうちに、離婚はハンデでも何でもない、一つの経験である、と学びました。帰国後、現在のフリーのパタンナーをしています。そして、放送大学の学生であり、宇宙について学んでいます。無限に広がる宇宙は、限りなく魅力的であり、また自分の中にある(精神的な)小宇宙もまた同様です。



地図と磁石で目的地への道を探す

家計簿内訳

〔収 入〕		156,100
〔支 出〕		
交 通 費		6,100
貯 蓄 金		20,000
親に食費等を経分		40,000
親として渡している		
国民年金		7,400
交 際 費		20,000
リクリエーション		15,000
学 費		10,000
本		5,000
食費(昼食代)		10,000
美容・化粧品の代		20,000
食 費		
美容		
そ の 他		1,600
残	高	
計		155,100
		1,000

楽しかった日も掘りと  
オリエンテーリング

十月十八日の日曜日、東京の会と横浜の会の合同で、神奈川県三浦海岸に近い津久井浜で、オリエンテーリングといも掘りを行いました。台風一過の快晴で、風は涼しいものの、照りつける太陽に汗だく。

大人十一人、子供六人の総勢十七名、地図と磁石を頼りに歩き、手作りのお弁当に舌鼓を打ち、キャーキャー言いながらつまみも掘って……。夏の合宿でもお世話になった内藤弘子先生のリーダーシップで楽しい爽やかな一日でした。(円)



ハンド・イン・ハンドは、みなさんがつくる雑誌です。

みなさんの日常考えていることや、生活の匂いが伝わってくるような、そんなハンド・イン・ハンドでありたいと思います。お便りをどんどんお寄せください。

## 大宮の会、作りたい

今、私は秋田県大館市に遊びに来ています。八月中旬一日も休みがとれず、やっと遅い夏休みというわけです。ここには八十九才と八十才になる親戚（私にとっては、おじいちゃん、おばあちゃんのような存在の人）が住んでいて、そこへ息子（四才）と妹と三人で泊まっています。空気はきれいだし、静か、それにおばあちゃんの手作りのきりたんぽは最高においしく幸せな気分になさせてくれます。

離婚して半年になりますが、最初のうちは心配をかけたくないので黙っていました。いつまでも隠し通せる訳でもなし、思いついて知らせました。やはり心配しましたが、でも私が本当に明るく、幸せそうなので「良かった」と言ってくれました。私も心の底から離婚してよかったと思っています。今、自分の前に開けている世界や可能性を思うとわく／＼します。

もしあのまま、ただ我慢して結婚生活を続けていたら、きっと私は自分の人生を後悔したと思います。

これからの人生、いろ／＼なハンディやギャップがあると思います。が、パワフルにポジティブに生きて行きたいとはりきっています。

そこで「大宮の会」を作りたいと思います。是非、ハンド・イン・ハンドに名前と連絡先を載せて下さい。「東京の会」にも一度も出たことがないので、一体何をやるのかもよくわかっていないのですが、「横浜の会」もあることですし近くの方と集まってパワーを充電しあえたらと思っています。

☆講演で大宮に時々行きます。大宮の会が発足すれば、私も応援に出かけますよ。頑張ってください！（円）

男には当たらなかったが  
家が当たった！

東京・……（三七歳）

別居中より入会し、いつも楽しく、かつ元気づけられて購読しています。この五月に公営住宅の申し込みの為、さっさと離婚届けを出し、全く幸運にも当たってしまいました。（友人と「男に当たらなかったが、家が当たってヨカッタ！」と笑いました。）それにしても幸運でした。現在の住居が家賃は前夫もち、八畳、六畳の二DK、駅から五分、環境抜群という所なので、半同居の父も含め、四人で住む所を探すのは、全く大変でした。民間アパートは、老人子供が世の中には居ないと思っているかの如く、健康で働き盛りの若者しか相手にしないのですから。女達も、もつと不動産部門に勢力を伸ばせたら少しは変わるのではないかと一人で腹を立てています。

離婚に際して、私などはついていく方なので、あまり文句も言えませんが、男社会をほんの少しでも変えるべく、日々努力したいと思っています。

ハンドの会報にも、求人欄を積極的に取り入れるとか、女達で何

か仕事が出来たらという企画も欲しいなと思います。  
今後楽しく購読させて頂いたく皆様に期待します。



## 自分の居場所？

大阪・S（三五歳）

先日テレビニュースの特集で（有責配偶者からの離婚請求は、認められない、という判例のことについて）現代家族問題研究所が映っていましたね。

円より子さんへのインタビューもあって、円さんの優しいような表情が印象的でした。

会報、読む程にうなずいてばかりです。私も教師でいることと、離婚していることで悩んでいます。でも、ハンド・イン・ハンドの会に出会って自分の居場所が少し、見つけたようで心強いです。

これからも会が発展してくれるよう願っています。



外には見えない努力と配慮

三重県・Y (三〇歳)

長い間ごぶさたいたしました。調停により、一月に正式離婚しました。子供、現在長女五才、長男三才、二人を引きとり、長女もこの四月から保育園に行っておりま

す。父親の事はあまり口にしません。TELがあると「パパ」に会いたいと言います。長男は「パパは遊園地で待っているから」と言っています。離婚後、養育費を毎月支払ってくれるようになっていたのですが、一度もありません。あてにはしていませんが、自分から言い出したのに、無責任で腹が立ちます。でも、キチツとしてく

小学校に養護教諭として働いていました。養護、保健の免許があり、結婚前までは私立の女子中、高で働いていました。小学校は初めてですごく不安でした。十年近くブランクがあり、不安で不安でしかたなかったけれど、ガンバロウというフアイトはありました。無事五ヶ月すみしました。五ヶ月の間、初めてあんなに楽しく、充実した日はありませんでした。学生の頃からやってなかったテニスも始めました。以前の友人達ともいろいろつきあいも始めました。友達もたくさんふえました。働きに出て本当によかった！でも子供のこと、家のこと、いろいろ手をぬきました。九月は休職中、いい母しています……。十月一日～三月末日まで、次の小学校が決まりました。三重県教職員採用試験も受けてみました。いろいろ始めました。本当に、今はとても幸せなかもしれません。でも、時々とてもさみしい……。いつも頼ってきた方だから、頼られる方になった、一人でガンバラなくてはいけなくなりました。仕事も講師でなく本採用になりたい。この年は本当に、いろんな事が

あった年です。でもすごく充実して毎日が楽しい。長女も父親がいない事がわかっていいのか、私の父に「おじいちゃん、美成子、パパいないから、おじいちゃんがパパになつてネ」とたのんだそうです。父もうれしそうな顔を話してくれました。

でも私は、うれしいやらかわいそうやら複雑な気分でした。パパの分も子供たちを幸せにしてやりたい……。私の父も母も甘いから、私一人、いつも怒り番しているこの頃です。でも三人ともとても元気です。ただ今、ガンバッテます。

■徳島で講演会

十一月七日(土) 徳島で円より子の講演があります。午後一時半～三時半まで。徳島市城内、県青少年センター3F大会議室にて。第四回徳島婦人大学講座の最終回でテーマは「わかりあえるか男と女」。問いあわせ先・〇八八六二二一・二一七七

■毎週金曜日夜二時、TVで

愛知以西の方、朝日放送のピバ・レディに毎週出ていますので、TVでお目にかかりましょう。(巴)

※事務局便り※

■ハンド発送にワープロを導入し、この夏から入力、チェック、宛名ラベル印刷とテンヤワンヤの状況が、やつと落ち着き、住所や氏名変更の処理が楽になりました。手紙や電話連絡の際、お名前の他に、会員番号と電話番号をお忘れなく!! (M)

■体調が安定して、仕事も楽しく思え、時の流れが早く感ずるこの頃です。七八号より宛名をワープロに統一しました。郵便番号、現住所、氏名、会員番号など、まちがいがあるかもしれません。訂正を要する方は事務局までご連絡を。(児玉)

■子供がいらないから話が合わない」と、会を脱してしまう方がいて本当に残念。100パーセント自分を見つめるつらさとせいたくを知っているシングルの皆さん、お手紙下さいね。(有賀)

■お酒のおいしい季節到来。昨夜も「風と共に去りぬ」をLDで観ながらウイスキーのボトルを半分近く空に。出てきたおなかをそろそろひっこめないといけないというのに……。(巴)



第九一回ニコニコ離婚講座

十一月二八日(土) 午後一時半  
～五時。日本社会事業大学地下〇  
一教室(JR線原宿駅下車徒歩五  
分、東郷神社隣) 円より子による  
「離婚を選んだ女たち」その充実  
した生活」の講演と金住典子弁護  
士の「離婚に必要な法律と知識」  
どなたでもどうぞ。  
参加費一五〇〇円。電話で予約を。  
☎〇三(四〇二)七三五四

会合のお知らせ

★東京の会合

十一月二一日(第三土曜日)二  
時～五時。

テーマは「結婚の意味を考える」  
参加費五〇〇円(茶菓子つき)。電  
話で予約を。

☎〇三(四〇二)七三五四

地方の方、参加できない方は、  
ぜひ手紙で参加して下さい。

★大阪の会合

十一月四日(第二土曜日) 十

時半～十二時半(時間厳守)。竹川  
法律事務所にて。

テーマは「児童扶養手当につい  
て」。電話で予約を。

—— 他地域の連絡先 ——

連絡係、引き受けます

◎中国地方、広島の連絡先として  
ぜひ使して下さい。私自身もまだ  
離婚は成立していませんが、これ  
から生きていく上で、みんなと一  
緒にがんばりたいのです。

◎父親のいない家庭となつて、一  
年八ヶ月が過ぎました。帯広の連  
絡先として、私の所で良かったら  
どうぞ利用して下さい。

◎千葉の連絡先として御利用下さ  
い。

全国に、ハンド・イン・ハンド  
の輪が広がることを願っていま  
す。  
(編集部)

購読料について



現在つぎの三通りの方法をとら  
せていただいています。

- ① 一年間三〇〇〇円(送料共)
- ② 二年間まとめて前払いして  
くださる方には、二年分、  
六〇〇〇円のところを五〇  
〇〇円に。
- ③ 出世払いもしくは免除  
どうしても苦しい方は、いつで  
も遠慮なく申し出てください。  
それぞれ出費が大変でしょうが、  
期限切れの通知の入った方、ま  
たはこの折りにという方いずれ  
もご都合のよい方法でどうぞ。

(振込先) 各地の郵便局  
東京一四一—二〇五四—  
ハンド・イン・ハンドの会